

## 平成 30 年度予算の主要な事業

### 子育て教育都市

子育て環境の充実を図り、子育て世代が働きやすく、安心して子どもを生み、育てられるまちを目指します。また、心豊かにたくましく学び、生きる子どもを、地域社会全体で育むとともに、生涯にわたって学ぶことができるまちを目指します。

#### < 主な子育て施策 >

##### ( 1 ) 区立児童相談所設置に向けた取り組みの推進 602,311 千円

児童相談行政のさらなる充実を図るため、都や特別区間の連携体制を確保した上で、32年度の区立児童相談所の設置を目指す。

30年度は、施設の建設工事に着手するほか、先駆的な取り組みを実施している児童相談所への職員派遣や経験豊富な職員を採用することにより、職員体制の充実・強化を図る。

##### ( 2 ) 荒川遊園の管理運営 1,075,249 千円

子育て家庭をはじめ、すべての来園者が安心して利用できるよう、施設・設備等の適切な管理運営を行う。

また、だれもが楽しめる心の通ったサービスやイベントの充実、積極的なPR等に努め、来園者の増加を図る。

30年度は、荒川遊園改修基本計画に基づき、大型遊戯施設の入れ替えを始めとしたリニューアル工事に着手する。

##### ( 3 ) 子ども家庭支援センターにおける要保護児童対策 5,785 千円

児童虐待の早期発見や迅速かつ的確な対応を図るため、「荒川区要保護児童対策地域協議会」における関係機関の連携を強化するとともに、養育が困難な保護者を支援する「養育支援訪問事業」や子育てに不安がある保護者を支援する「安心子育て訪問事業」などを実施し、子どもたちの養育環境の改善を図る。

**(4) 産後ケア事業の拡充**

**10,240千円**

出産後に家族等からの援助を受けることができない生後4か月までの母子に対して、医療機関等で助産師等による育児支援や心身ケアを提供する産後ケアを実施し、育児不安の解消を図る。

30年度は、対象を初産婦からすべての妊産婦に拡大するとともに、宿泊型に加え、気軽に利用できる日帰り型の産後ケアを新たに実施する。

また、実施医療機関を区内2か所から近隣区を含めた4か所に拡大する。

**(5) 子どもの居場所づくり**

**13,350千円**

区内5か所で、学習支援や夕食を提供する生活支援など、子どもの居場所づくりを行う団体を支援することにより、支援を要する子どもの健全な育成を図る。

30年度は、子どもの居場所や子ども食堂などの実施団体、ボランティアセンター、フードバンク等の関係機関によるあらかわ子ども応援ネットワーク等の連携を強化し、より身近な地域で子どもたちが集える居場所を提供できるよう、新たな居場所の開設を支援する。

**(6) 私立幼稚園等預かり保育補助**

**9,900千円**

多様な保護者のニーズに対応するため、私立幼稚園等が実施する預かり保育に対する支援を行うことで、平日の長時間や長期休業中の預かり保育の実施を促進する。

**(7) 保育従事職員等への宿舍借り上げ支援**

**147,231千円**

保育従事職員用の宿舍の借り上げを行う事業者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、保育士等の人材確保と離職防止を図る。

**(8) 定期利用保育の実施**

**24,750千円**

新設保育園の空きスペース等を活用し、保育需要の高い年齢の児童を対象に、一定期間継続的に保育を行うことにより、待機児童の解消を図り、安心して子育てできる環境を整備する。

**(9) 児童の安全対策の強化【新規】**

**25,480千円**

監視モニターやベビーセンサー等の設備や機器を導入する事業者に対し、区がその経費を補助することにより、保育従事職員の負担を軽減し、午睡中の児童の安全対策を一層強化する。

**(10) 待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大**

**1,799,582千円**  
増大する保育需要に対応するため、新たな認可保育園の開設を支援し、待機児童の解

消に向けた取り組みを継続する。

開設：30年4月（予定）

- ・ういず南千住保育園（南千住五丁目）（定員：60名）
- ・キッズあおぞら保育園拡張（荒川二丁目）（定員：53名 74名）
- ・まなびの森保育園町屋（荒川七丁目）（定員：60名）
- ・あい・あい保育園西日暮里一丁目園（西日暮里一丁目）（定員：50名）

開設：30年6月（予定）

- ・（仮称）聖ローザ保育園（西日暮里六丁目）（定員：102名）

開設：31年4月（予定）

- ・（仮称）新東日暮里保育園（西日暮里二丁目）（定員：130名 150名）

#### （11） 保育士への奨学金支援制度 18,100千円

区内私立保育園等に保育士として5年間継続して勤務することを要件に返済免除とする奨学資金貸付事業を実施することにより、保育士を目指す方への支援を行う。

また、奨学金を利用して保育士資格を取得し、区内私立保育園等に保育士として就職した方に対し、奨学金の返済費用を支援することにより、保育士の人材確保及び職場定着・離職防止を図る。

#### （12） 社会的養護の体制整備【新規】 2,711千円

区立児童相談所の設置と併せて、里親や児童養護施設などの社会的養護にかかる体制整備を推進することにより、子ども一人ひとりの状況に合わせた支援の充実を図る。

#### （13） ひとり親家庭支援の充実 15,940千円

ひとり親家庭の自立促進と安定した生活の実現を図るため、母子父子自立支援員が様々な課題を抱えるひとり親家庭の相談を総合的に受け、個々の家庭状況に応じた適切な支援につなげる。

また、ひとり親家庭の将来を見据えた経済的自立を目指すため、ひとり親自立支援プログラム策定員がハローワーク等と連携し、就労相談を行う。

さらに、「ひとり親家庭応援メール」を月3回配信し、支援サービスの周知及び利用の拡大を図る。

#### （14） 協力家庭ショートステイ【新規】 2,170千円

保護者の疾病やその他の理由により、児童の養育が一時的に困難となった場合に、現在実施している乳児院及び母子生活支援施設でのショートステイに加え、区が委託する協力家庭において、短期間養育・保護を行うことにより、児童及び家庭福祉の向上を図る。

また、社会的養護推進のため、地域社会全体で子育てを支える体制を幅広く整備することで、里親登録の拡大につなげていく。

### (15) 放課後子ども総合プランの推進

901,191千円

全児童を対象に、学校施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設ける放課後子ども教室（にこにこすくーる）を実施し、次代を担う人材を育成する。

また、放課後子ども教室と学童クラブを一体的に整備・運営し、両事業を利用する児童が体験プログラムと一緒に参加できる環境を整え、交流を図る「放課後子ども総合プラン」を推進する。

30年度は、国家戦略特区制度を活用し、汐入公園内へ汐入東小学童クラブを開設し、放課後子ども総合プランを実施する。

にこにこすくーる実施校 : 24校（全校実施）

一体型総合プラン実施校 : 15校 16校

連携型総合プラン実施校 : 5校

### (16) 学童クラブの充実

219,415千円

共働き家庭等の児童に対し、遊びと生活の場を提供するため、学童クラブ事業を実施する。

30年度は、学童クラブの需要増に対応するため、汐入東小学童クラブを開設することにより、汐入地域の供給体制を整える。

学童クラブ実施か所数 : 26か所

学童クラブ定員 : 1,525名 1,585名（60名増）

### (17) 幼児期からの芸術教育の充実

1,387千円

幼児期に造形活動や表現活動に親しませながら、専門家が創り出す芸術に触れさせ、生涯にわたる健全な心を育てるため、区立幼稚園において、東京藝術大学と連携・協力し、芸術との出会いの機会を設ける。